

筑波大学における生成系 AI の使用に関する基本方針

令和5年5月11日
筑波大学

筑波大学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的としている。また、研究におけるデータの秘密保持、論文の正確性・オリジナリティーの担保、自由かつ公正な研究推進が重要であると認識している。

学術的にも産業的にも大きな成果を挙げることが期待されている生成系 AI については、新規技術の社会への定着に向けて積極的に活用することを基本とする。本学において、大学の基本的な活動に関わるすべての教職員・学生は、教育・研究の最も重要な特性であるその独自性と新奇性を尊重し、これを活用することとする。

ただし、現在、必ずしも情報の真偽・正誤の確証が得られない、著作権の侵害についての係争や学術上のオリジナリティーの保護に関する問題が発生している、個人情報などの機密情報が漏洩される懸念がある、データ等を恣意的に選ぶことで言論・思想統制に用いられる危険性があるなどの問題が存在することを認識しつつ、使用者の責任を自覚して、慎重に取扱うこととする。

具体的には、以下のことに留意する。

○生成系AIに対する質問・指示について

業務で知り得た機密情報や研究計画、研究結果などの未公表の情報を生成系AIに対する質問・指示（prompt）に含めない。

○引用元の明示について

筑波大学の教職員及び学生が作成する論文、著書、教育用資料あるいは学修成果物等に生成系AIからもたらされた文章や画像等を使用する場合は、適切に引用元を明示することができる場合のみに限定し、文章全体のオリジナリティーが懸念されるような割合にならない範囲での使用とする。また、虚偽情報でないこと、著作権等の問題がないことを確認できないものは使用しない。

○情報のバイアス等への留意について

生成系AIから得られた情報には、特定の意図を持った偽情報やバイアスがあり得ることを認識して、必ず一次資料を確認・参照し慎重に取扱う。

○生成系AIを搭載したソフトウェアの使用について

今後、Microsoft Officeなど生成系AIを搭載したソフトウェアが一般化し、生成系AIを使っているという意識をせずに作業をしている際に、裏で生成系AIが働いているという状況も想定されるため、このことを認識し、当該ソフトウェアの環境設定に注意する。

○最新動向の把握について

生成系AIの技術的発展は日進月歩であり、それに関わるメリットや付随するリスクは常に変わりうるものである。生成系AIをめぐる議論や使用上の注意に関して最新の動向を把握し、適切に対応すること。

尚、これらの具体的な留意事項については、令和5年5月現在の状況に対応するためのもので、今後、変更が必要となった場合には、改めて公表する。